地方創生★政策アイデアコンテスト2020



片岡智絵 井上有弘 平野義浩 新井稲二 石井イツ子

対象地域:福島県 郡山市・平田村

経緯

- ・ コロナ禍で各地の信用金庫から「地域のイベントができず困っている」という声が…
- 「困っている人、地域があるとほっとけない!」のが信金ウーマン・信金マンの心意気
- 親戚の「加登屋酒店のおばちゃん」に声をかけて、福島を盛り上げよう!
- 多くの人に呼び掛け、サポーターズを結成、各自が得意技を持ち寄る「結の精神」で
- 意気消沈のおばちゃんも、疎遠だった知人を誘い、明るく。 蔵元へのロケ取材も!
- ・加登屋酒店、郡山・平田村・福島を、人が集まり賑やかな場所に!! (今日はその報告)



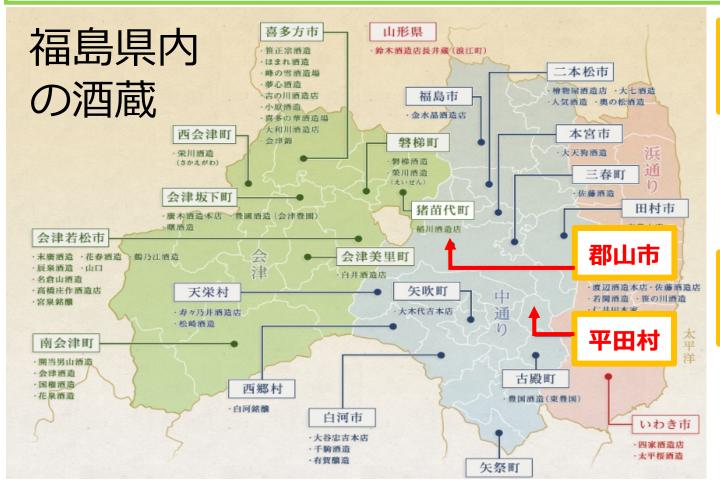


「新しい日常」の中でも、オンラインで地方のお酒・食・文化を仲間と楽しみ、"旅" を実感できる オンライン・ツーリズム を提案します。

- ◆人口減・高齢化が進み、さらにコロナ禍で観光客も激減するなか、 オンラインで消費を促す仕組みを地方発で作り、外出が難しい 都市からの参加者とともに「密な体験」ができるオンライン・ ツーリズムの実践を提案
- ◆本政策アイデアにより、酒どころ福島県の郡山市・平田村に消費とアフターコロナの誘客を実現

酒どころ福島県郡山市・平田村(現状分析)

・福島県は、全国新酒鑑評会で7年連続で金賞受賞数日本一となるなど、県内に50以上の酒蔵がある「酒どころ」







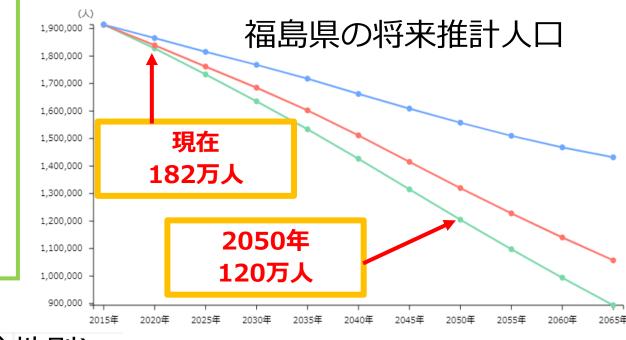
地図・写真出典:日本一のふくしまの「福の酒」HP

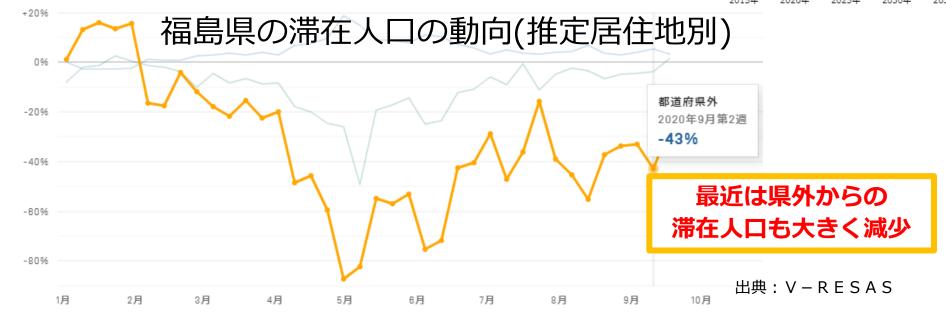
出典: RESAS

酒どころ福島県郡山市・平田村(現状分析)

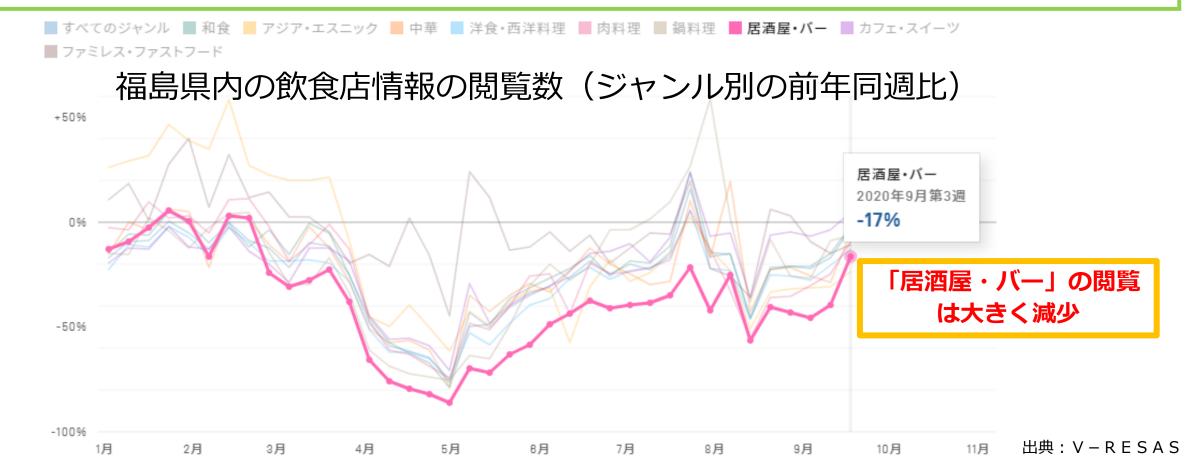
- 福島県の人口は、30年後の 2050年には、現在の182万人 から120万人に減少も
- 最近はコロナ禍で県外からの 人の移動も大幅減

■ 市区町村内 ■ 都道府県内 ■ 都道府県外





- コロナ禍で福島県内の飲食店情報の閲覧数は、 特に「居酒屋・バー」で大きく減少
- ・ 観光客に期待できないうえ、地域内の消費も低迷

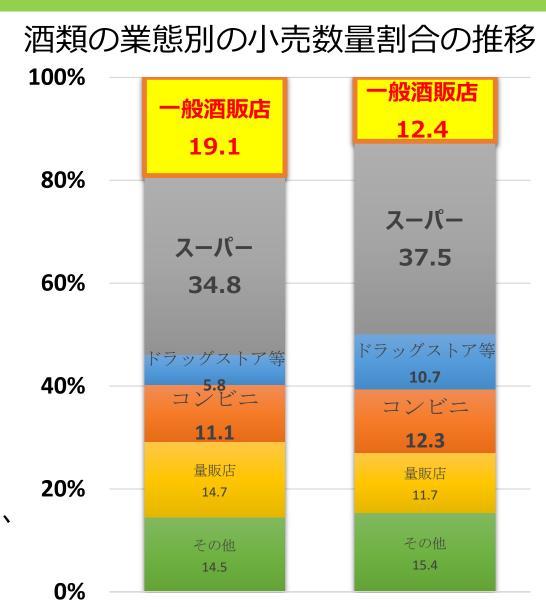


酒どころ福島県郡山市・平田村(現状分析)

- 酒類販売の自由化などから、 他業態にシェアを奪われ、 「酒屋」の割合は低下
- 一方で、地域の酒屋は、 コミュニティのなかで人、モノ、 情報をつなぐ中心的な役割

● 地域の「カギ当番」

2023年に創業100年を迎える郡山市の加登屋酒店は、酒蔵との信頼関係はもちろん、地域の中心に位置し、公共施設のカギを預かり住民に貸し出すなど、地域コミュニティの結節点の役割を担ってきた。



2009年度

出典:国税庁

2018年度

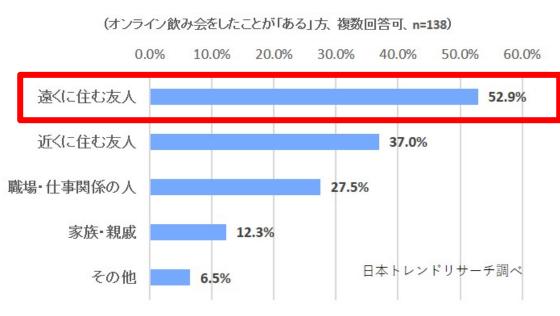
首都圏では「飲み会」が変化(現状分析)

- 首都圏・近畿ではリモートワークが普及
- 外出自粛で職場の「飲み会」は減少、 代わりに「オン飲み」を経験する人が増加
- 「オン飲み」の相手は、「遠くに住む友人」が多い

リモートワーク実施率(勤務地域別、5月調査)

休業している・その他 毎日リモートワーク 58.5 全体(9721) 5.9 首都圏(3408) 6.2 6.2 近畿(1992) 北関東(391) 4.6 70.3 中部(1585) 8.8 16.0 72.0 6.4 中四国·九州(1343) 74.7 6.1 東北·北海道(1002) 20 80 100 % 出典: ITmedia

オンライン飲み会の相手は?



課題のまとめ(地方・都市・行動)

地方: 人口減に加え、コロナ禍でさらに停滞した消費の復活

都市: 職場・飲食店以外での親密な場づくり

行動:「3密」回避、オンラインへの抵抗感は減少

地方

人口減・高齢化が進み、さらにコロナ禍でインバウンド・国内観光客も激減し、 地方の消費活動は停滞

「酒どころ」福島でも、居酒屋などでの外食は減り、地域内・外の消費が低迷。 イベント需要も縮小し、地域の酒屋はさらに苦境に

都市

首都圏では、外出自粛で飲食店での職場の「飲み会」は減少「オン飲み」を経験する人が増えたが、友人等との親密さ・共感が求められている。

行動

「3密」回避が求められるなか、オンライン体験への抵抗感は少なくなっている。

提案(全体像)

こうした課題を解決するため、オンラインで消費を促す仕組みを、 地域の「酒屋発」で作り、外出が難しい都市からの参加者ととも に「密な体験」ができるオンライン・ツーリズムを提案します。

試行済の提案

- ① オンライン利酒会
- ② 地元食材の提供
- ③ 道の駅、有名旅館など 観光スポットの紹介

今後、具体化していく提案

- 4 オンラインならではの体験
- ⑤参加型オンライン体験

提案① オンライン利酒会の実施

- ・ オンライン利酒会を試行的に2回実施
- ・ 郡山市・平田村の日本酒を参加者あてに事前送付
- 蔵元のゲスト参加

蔵元自らが木桶を使った伝統的な製法で作った おススメのお酒、美味しい飲み方を紹介するな ど日本酒好きにはぜいたくなひと時

● 酒造りの動画放映

酒造り、蔵元の感謝祭の様子を動画放映し、 蔵元の酒造りへの熱意が伝わる会に

● ビデオ会議システムの練習

個別練習などオンラインならではの準備も必要

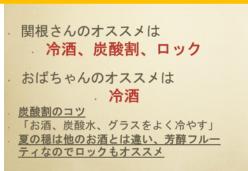
● 2回試行的に実施済

7/4:仁井田本家、9/26:若清水酒造

参加費は1人5,000円



銘柄ごとに美味しい飲み方を紹介



提案② 地元食材の提供

- ・ 地元食材を事前に送付して地域の逸品を P R
- 同じおつまみを食べながら、食材の由来を紹介、感想を共有
- 地元食材をおつまみとして送付

平田村名産「ごぼーのチップス」、南麻布の日本料理店「分とく山」の総料理長、福島出身の野﨑洋光氏が福島産食材を用いて監修した「エゴマと大葉の昆布ふりかけ」を事前送付。

利酒会に寄せた同氏直筆メッセージを民謡「会津磐梯山」の節回しで紹介

- 〆のうどんの作り方紹介
 - 郡山で大正15年創業、佐藤製麺の「清鶴麺」で美味しい〆のうどんの作り方を紹介
- ビジネスマッチングも築地で仲卸をしている参加者から引合いも

「ごぼーのチップス」



「エゴマと大葉の昆布ふりかけ」

- ・ 「ドライブマップ」を作成して"旅のルート"を紹介
- 地域の観光スポット、温泉旅館からの美しい景色、露天風呂の動画などを放映し、地域の魅力を発信
- 「ドライブマップ」でルート紹介

「ドライブマップ」を画面共有して、司会者がツアコン

的に行程を案内。道中の観光スポットを動画、写真で

紹介しながら"旅"を進行

● 「日本一の旅館」など 観光スポットの魅力発信

プロが選ぶ「日本のホテル・旅館百選」の総合第1位 「八幡屋」の露天風呂





「ドライブマップ」で旅気分



出典:google

提案④ オンラインならではの体験の提供

- 外出自粛や「3密」回避を逆手にとり、オンラインならではの 「密な体験」を提供する。
- 麹室での仕込み作業の V R (仮想現実)体験など

リアルな体験は、衛生面・麹菌対策などから不可能だった 麹室内の仕込み体験などをVRでオンライン体験

- 地域の季節のお祭りなども通年で体験1年に一度のお祭り、伝統行事などをVR体験できるようにし、季節や時間を選ばず、3密・混雑なしで楽しめる
- 地域の歴史や文化などもジックリ勉強参加者の興味、ペースに合わせて情報提供
- 「3密」を回避しリアルより「密な体験」を提供 リアルツアーの移動や待ち時間、開催時期などの制約がないため、リアルよりも「密な体験」が可能に

酒米を蒸す様子



提案⑤ 参加型オンライン体験の提供

- 民謡「会津磐梯山」を「磐梯山の山頂」で参加者全員で唄う
- オリジナルラベルの作成、酒米の田植え・仕込み体験、 「御酒印帳」など参加者を巻き込む工夫
- 時間の経過・次の参加が楽しみになる体験の提供
- 「オリジナルラベル」作成、ファンの意見を反映

酒蔵のファン向けにオリジナル清酒ラベルを貼って販売。オリジナル清酒ラベル

ファンの意見をお酒造りに反映し、さらなるファンに

●「御酒印帳」の作成

「御朱印帳」ならぬ「御**酒**印帳」を作り、多くの蔵元や 銘柄をスタンプラリーのように楽しんでもらう。

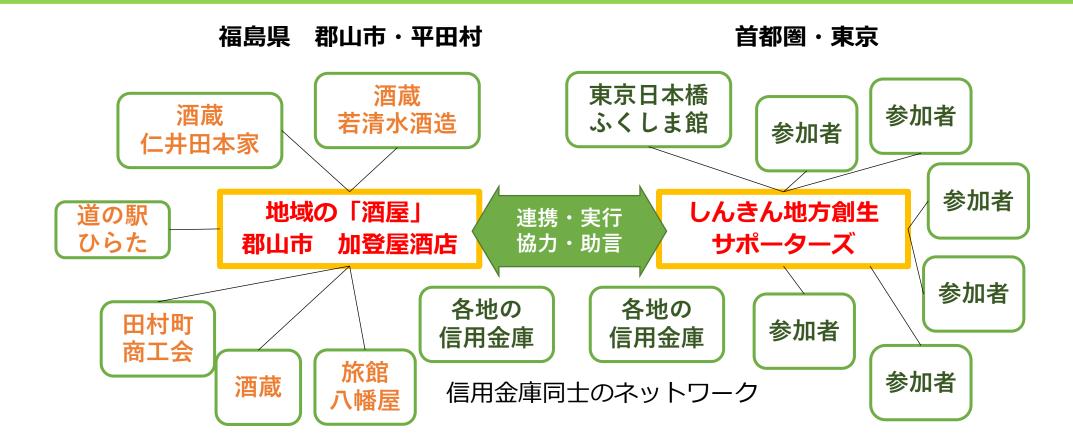
● 仕込み体験などで「待つ楽しみ」も提供

酒米の田植え、仕込みなどをオンラインで体験し、季節 の移ろいを体感、待つ時間も楽める参加型体験を提供



提案の実行体制

- 実行の起点は、コミュニティの結節点である地域の「酒屋」
- 協力・助言は、「しんきん地方創生サポーターズ」
- 現状でも、上記の実行体制で一部提案を実現済

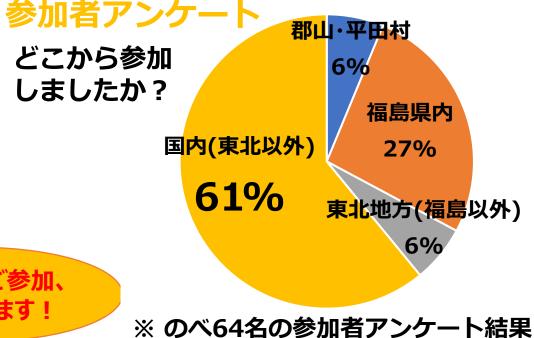


現状報告・今後の展開

- 12/5「大忘年会」開催、来年3月「寿々乃井酒造店」を予定
- 今後も季節にあったお酒を紹介、VRカメラでの取材も予定
- ・コロナ禍でも全国から人が集まり、加登屋酒店の情報発信を 起点に、郡山・平田村・天栄村、福島を賑やかな場所に!!

開催実績

0	開催日	テーマ・酒蔵	参加者	どこから しました
1	7/4	仁井田本家 (郡山市)	約30名	UAUL
2	9/26	若清水酒造 (平田村)	約25名	
3	12/5	大忘年会	約30名	
4	来年3月	寿々乃井酒造店 (天栄村)	みなさまのご参加、 お待ちしてます!	



18

郡山市・平田村、福島県、地方の創生に向けて

- 酒蔵は全国に約1,400あり、本提案は他地域に展開して継続的に実施可能
- 日本酒だけでなく焼酎・ワイン、さらに地域の食材をテーマ にしたオンライン体験にも発展可能
- 地方の「酒屋」の多くは、古くから地域密着で事業を営んでおり、酒類販売のほかにも、地域の人・モノ・情報の結節点として培ってきた大きな潜在力があると考えます。

ご清聴、ありがとうございました。

ご協力いただいた皆さま

第1回(7/4)

仁井田本家 蔵元、女将、内藤営業部長 関根営業担当

田崎真也ワインサロン 有機農業ネットワーク福島 福島県郡山市観光協会 クマガイコーポレーション 株式会社(おつまみ) 株式会社大政本店(おつまみ) 株式会社金芳(おつまみ) 郡山市 馬場商店(おさしみ) 美容室クララ・ボウ(ヘアメイク)

第2回(9/26)

若清水酒造 佐藤専務

株式会社パイク 日本料理店「分とく山」 野﨑洋光 総料理長 平田村役場(映像提供) 母畑温泉 八幡屋(映像提供) しばざくらの里 道の駅ひらた 日本橋ふくしま館 小山館長 株式会社ビジネスクロス 宮崎博孝

第3回(12/5)

仁井田本家

寿々乃井酒造店 女将 鈴木里奈

双葉町役場 秘書広報課 双葉町 民謡同好会 会津坂下町 台の宮かんしょ連 (民謡 会津磐梯山 映像提供) 田村町 力丸果樹園(おつまみセット) 田村町 サンマートアヅマ(おつまみセット) 郡山市 芳賀信利(おつまみセット)

特別協力 郡山市田村町商工会

ご協力、ありがとうございました!(敬称略)

しんきん地方創生サポーターズ

片岡智絵 井上有弘 新井稲二(産業能率大学) 平野義浩(北上信用金庫・平運酒店) 舩山裕二 峯岸国安 秋池るみ

加登屋酒店

石井イツ子(おばちゃん) おじちゃん 加登屋 分室 石井睦子 滝田貴義(IT担当助手)